

今号のわだい

- [1面] 2010年春闘、夜勤シンポ
- [2面] 欧州医療視察ツアー
- [3面] 3・1ビキニデー

全厚労ニュース

全国労働組合連合会
厚生連
〒110-0013 東京都台東区入谷 1-9-5
TEL 03-3874-3591
FAX 03-3874-3593
発行日 毎月 20日
定価 30円

10春闘

情勢いかして前進を 働きつづけたい職場へ

全厚労は、3月8日、中央執行委員会を開催し、10春闘の要求状況や取り組みを持ち寄り、春闘前進に向けて意思統一しました。今春闘では、10年ぶりの診療報酬引き上げや春闘アンケートなどの結果も受けて、ベア要求を14県が掲げています。

加えて看護職場を中心に休日・休暇の確保や増員・離職防止対策は、切実な要求です。春闘アンケートでは、研修の改善に取り組んだ山口で、「仕事を辞めた」と考える人が全国平均で24・5%なのに対して17・3%と7・2ポイントも低い結果を出しています。また辞めたい理由でも「業務外の研修」を挙げた人は、全国平均31・7%に比べ、山口は19%（その他、埼玉・高知では20%未満）となっています。働き続けられる職場目指して、今春闘を頑張りましょう。



秋厚労 中村秀也委員長を先頭に「団結ガンバリ！」

3月4日、東京・星陵会館にて日本医労連・自治労連・全大教共催の「長時間労働・夜勤問題に関するシンポジウム」が行われ、医療や航空関係など夜勤労働を行っている職場から約400名が参加しました。

4人のシンポジストが報告。全日赤大阪赤十字病院の西山幸代さんは、16時間という長時間夜勤の実態を勤務内容を示して話され、800名の看護師のうち毎年100名が入れ替わる労働環境を、安心安全な医療を守り看護師が健康で働き続けられるよう変えていきたいと決意が語られました。

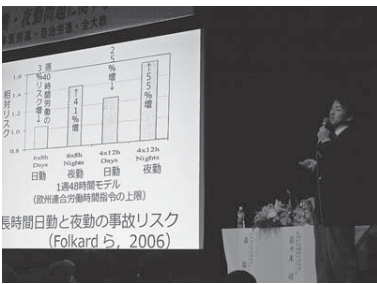
日本航空の客室乗務員で作る日本航空キャビンクルユニオンの森陽子さんは、秋田・湖東病院の病院長の会も住民の会も

秋厚労では、2月27日、春闘討論集會が行われました。新しい経営陣が出した、「経営改善計画」に対抗する春闘として、会に対して

夜勤労働者の共同を 長時間労働・夜勤問題に関するシンポ

航空機乗務における命を預かる勤務環境と医療現場の勤務環境が共通しており、ILO夜業条約批准など共同して取り組んでいきたいと思います」と表明されました。

労働科学研究所の佐々木司さんは夜勤労働での事故リスクや健康への害悪を最新の研究からわかりやすい図表を示し、先の勤務形態が読めない「不規則」な労働環境を労働者が自ら要求して「柔軟性」のある労働環境へと変えていってほしいと語られました。

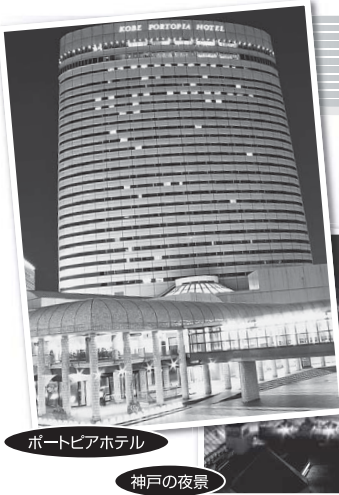


長時間夜勤の有害性を語る佐々木先生

政府の姿勢にも変化

3月5日には、日本医労連の中央執行・政府交渉がありました。政府交渉を受けてか、さらに対応が様変わりして見えました。

根本に財政問題の壁はあるにしろ、私たちの実態や提案を前向きに受け止め取り入れたいとする姿勢が見られます。全厚労でも5月下旬〜6月初旬に厚労省交渉を予定しています。



ポートピアホテル

神戸の夜景

女性集会 in 神戸

全厚労第33回女性集会

健康に美しく働きつづけるために
あなたもご参加を

とき●2010年
6月4(金)～5日(土)

ところ●神戸市・国際会議場
神戸ポートピアホテル
ひよう●23,000円(1泊2食+参加費)

きねんこうえん

淀 房子さん(中央労働委員、全医労顧問)
国立病院の現場で女性や看護の運動を続けてこられて、とっても楽しいお話をされる方です。

進んだ医療環境と労働条件に学ぶ

欧州医療視察ツアー報告①

全厚労は、2月1～8日、トリア「欧州医療視察ツアー」を行い、4県・本部から13名の組合員が参加しました。

約5年ぶりと



出発前の成田空港にて記念撮影

なる今回の訪問先は、ドイツはミュンヘン市立病院とフランクフルト・ケッテラー病院(教会設立)、オーストリアのウィーン州立・オットー・ワグナー病院の3カ所です。



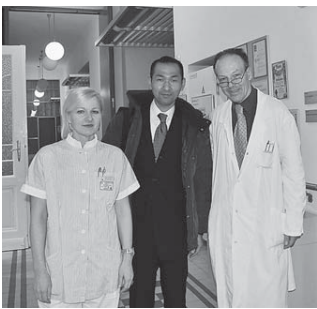
穏やかな天気(さすがにそれでも日本人には寒い)で、各都市での観光も含め、充実した8日間を過ごすこと

働きよい環境に驚き

富厚労 前野 典綱

今回参加させていただいた欧州の旅は私にとって感動と体験の多いものとなりました。欧州を訪れることも初めてでしたが、世界的にも評価の高い医療制度を間近で見ることができ、またとないチャンスを得た。日本の医療との違いや看護師はどのような環境で働いているのだろうか? 大変興味を持ちました。今回の訪問国であるドイツ、オーストリアの2カ国は欧州でも特に医療制度に歴史があり、充実した国でもありました。ホームドクターと呼ばれる開業医と専門医

ができました。全厚労ニュースでは、ツアーの報告を数回に分けて掲載する予定です。今回は、参加者の中から2名の感想を掲載します。次号から各々の病院での視察内容や欧州の医療制度、労働者の労働条件等について、掲載していきます。



ウィーン州オットー・ワグナー病院にて

自由に行き来することができ、勤務場所のローテーションが無く、制が作られていました。説明して下さった師長さんは話の中で「育児や家庭、生活環境に合わせることで勤務を減らし、長く働き続けてもらうことができない」と、

自信を持って話されたことが大変印象的であり、衝撃的でもありました。日本でもようやく短時間正職員制度が取り入れられるようになりましたが普及には至っていません。休暇制度においても全般的にこの病院でも年休が平均5～6週間でも全員が取得できていました。私の働く職場ではリフレッシュ休暇と平均6日の年休取得が精一杯です。大変うらやましく思います。労働者が仕事に生活を合わせるのではなく、個々の人生を大切に生きようとする考え方から生活に合わ

穏やかな病棟に感激

三厚労 福村 友紘

2月1日13時に成田を出発した欧州医療視察。ドイツの医療に対する高まる期待を胸に飛行機に揺られ12時間。ミュンヘン国際空港に到着。現地時間は17時30分を過ぎたところで、大きな空港の割に閑散としており、日本とは静まりかえっています。ドイツの時差は8時間。ターミナル付近では代表的なドイツ車であるベンツやBMWが列をなしていた。車のルーフには「TAXI」の表記がされていた。ここで初めてドイツに来たことを実感した。到着時の気温は2℃。日本の冬とさほど変わらず、特に女性陣から安堵の表情を確認する事が出来た。

せた労働環境を構築することで生き生きと働き続けることができ、ライフワークバランスが充実していると感じました。まだまだ欧州の旅は語りきれないほどの貴重な体験がありました。豊かな自然や歴史のある数多くの建築様式など、中世の面影を色濃く残した大変素晴らしい国々でした。今回同行させていただいた12名の方々には大変お世話になりました。また全厚労をはじめ快く見送っていただいた富厚労や職場の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。



ミュンヘン市立病院にて、救急隊員の方と記念撮影

ホテルまでの道のりの中で、ドイツサッカーワールドカップで使用されたArlianz Arenaもバスの窓越しから見る事が出来た。ホテルに着き、部屋にはいるとベッドがとて「危険」な距離で密着しておいた。富厚労書記次長の前野さんと同じ部屋で、初対面にも関わらず、間違いが起こらないうちに「前野さん...ベッド離してもいいですか?」と。前野さんも同じ思いだったらしく、「うん、そうしよう。」お互い長いフライトの疲れが残る中、部屋のインテリアが一変するほどの大移動を行い、懇親会に参加。現地時間ではデイ

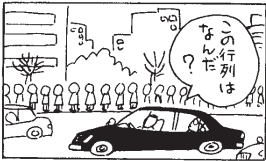
ナリだが日本時間では深夜2時。この時間にフルコースを食べるのは結構きつかった。ドイツ料理の特徴としては、フランスやイタリアなど食材に囲まれた国とは異なり、風土的に食材が不足しがちでこれを解消する工夫が施されているのが特徴。冬季は作物があまりとれないため、マリネやサワークラフトなどの保存食品が発達し、フランス革命後、旧貴族やそれに関係した人々が多くドイツに移住してきたため、彼らの影響も受けている。また、南米からもたらされたジャガイモは長い不作の時期、ドイツの民衆の餓えを満たす上で多大な貢献をしており、ドイツではジャガイモ料理が必須である。翌日より病院視察が始まり、ドイツ・オーストリアを含め3施設を見学させていただき、どの施設にも共通することは病棟内が静かで穏やかな印象。私も以前病棟で看護師として働いていたが、業務内容がともマルチな部分がある。保助看法第1章第5条には、「この法律において「看護師」とは厚生労働大臣の免許を受けて、傷病者もしくは褥瘡に対する療養上の世話または診療上の補助を行うことを業とする」と唱っているが、実際、業務内容は過

酷であり、医師の指示受けから始まり、注射、点滴、配膳、清拭、栄養指導、検査オーダー、リハビリの補助、処置、物品請求、薬品請求、シーツ交換、入院患者のお迎え、検査やオペを受け、「看護」の分野からかけ離れた業務を行うこともしばしばあった。それに引き替え欧州の病院では医療スタッフそれぞれに与えられている業務が日本より確立しているため、自分の業務を全うし、一定の職種だけに負担が生じる事のない病院運営が出来ていると感じた。

この欧州医療視察に伴い、お世話になった全厚労スタッフの方をはじめ、JTB添乗員さん、現地通訳の方、病院スタッフ、また私が今回の医療視察に行くことを快く賛同をいただいた伊藤委員長、各支部の中央執行委員をはじめとする三厚労の方々へ深く感謝し、今回の医療視察を職場で生かしたい。

ニユー笑アツ

芝田☆友権行



職員の誕生日に有給休暇を計画的に与えるよう労働組合と経営者で合意した



職場で大切な権利をクイズ形式で学んでいきます

よくわかる 労基法クイズ 第12回

第12回



A 〇 年次有給休暇の取得向上を目指すとして、計画的に有給休暇を取る制度が導入されています。この計画付与制度を行う場合、過半数の労働者が組織された労働組合又は労働者の代表と労使協定を結び、具体的な方法を定める必要があります。

労使協定で定める内容として病院全体または病棟など職場ごとの場合では具体的な付与日と日数を、個人ごとの場合は申請時期やその手順を決めておく必要があります。

計画的付与を行える年次有給休暇の日数は取得日数のうち5日を超える部分になります。たとえば年次有給休暇を20日もっている労働者は15日間まで、残りの5日は本人が自由に取得できるよう残しておかなくてはなりません。前年度に使いきれずのこっていた有給休暇がある場合は繰り越された分も含めて、計画的付与することが可能です。

計画的付与では退職予定の方や育児・介護休業予定の方など特別な事情により計画年休が適当でない労働者については労使協定で除外することができます。

役に立つサイト & フリーソフト

キングソフト インターネット セキュリティ U SP1



スポンサーの広告が表示されることで通常は有料の総合セキュリティソフトを無料で利用できます。アンチウイルス、パーソナルファイアウォール、セキュリティケアの三つのプログラムから構成されています。アンチウイルスソフトは自動アップデート機能でウイルスパターンが一日に約三回、自動更新されます。

無料に利用できます。アンチウイルス、パーソナルファイアウォール、セキュリティケアの三つのプログラムから構成されています。アンチウイルスソフトは自動アップデート機能でウイルスパターンが一日に約三回、自動更新されます。

ウィルスやスパイウェア等の侵入を未然に防ぎ、感染していった場合でも、検出して削除が可能です。

パーソナルファイアウォールはハッカーやトロイの木馬などをブロック。セキュリティケアはPCのシステムを診断して、ネットワークからの攻撃に対する脆弱性を修復します。

ダウンロードはキングソフト株式会社ホームページから、Windows 2000 / XP / VistaなどのOSで利用可。ポップアップ広告が多少、気になりますが、経済的理由からセキュリティソフトの購入をためらっている方にはうってつけです。



献花墓参平和行進へ出発!

今こそ核兵器廃絶へ 大きな一歩を

3・1ビキニデー集会在静岡県焼津市で開催され、全厚労から23名が参加しました。

一日目の2月28日はクラシニップでの全体集会和、に焼津駅前から、水爆実験

で死亡した故久保山愛吉さんの献花墓参行進に参加。そして墓前祭で戦争反対、平和を守る決意を新たにしてお花を植えました。

午後からは、焼津文化センターで行われた「被災56

ビキニデー集会に参加して

全厚労平和担当中央執行委員 今澤 太学

ビキニ・デー集会に参加したのは初めてですが、これを機会に核兵器と世界平和について考えてみました。そもそも核兵器は必要なのでしょうか。東西冷戦時代は米ソが先を争って核兵器開発を行ってきました。しかし、冷戦終結後も核兵器は未だ残っています。さらに、ソ連崩壊後、核兵器技術が非保有国に漏出し、ブランクマーケットの存在も明らかとなり、非保有国の核兵器開発を助長しています。アメリカは世界戦略、その他の諸国は地域の安定化、自国に有利な状況を作

の分析は、広島型原爆100個を用いた地域核戦争であっても、報復戦による直接被害だけでなく、オゾン層破壊による気温低下などの重大な気候変化により農業が破壊され、人類が深刻な影響を免れないことが示されています。スリールマイル島やチェルノブイリの原発事故からもわかるように、核は人類と共存しえないのです。唯一の被爆国である日本は今まで以上に被爆の悲惨さを知らしめていき、諸国の意識を今以上に変えていくことが必要であると思います。



墓前へ平和祈願したあとの参加者一同

帰って来た 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第37回は栃木・三重をお願いをしました。



三重 岡野元保さん

三厚労で中執として活躍している 岡野元保さんを紹介します。
岡野君は元ラグーマンということもありがたかった体格の持ち主です。
また、以前は大海原で活動していたこともあってこころもひろーい人なんです。
ですので、口癖は「おれは えーけどな」です。このおかげ(?)で大変な目にあることもあります。

そんなところもありますが、三厚労では縁の下の力持ちとしてとても助かっています。
今年4月からは新たに医療研の委員にもなり「みんなのためにがんばりたい」と意気込んでいます。
彼を見かけたら気さくに声をかけてください。「お・お?…」って、返事すると思いますよ。

三厚労中央執行委員の安達典久さんを紹介します。
中央執行委員になって1年目ですが、何事にも積極的な彼は、早くも青年部の中でなくてはならない存在になっています。先日は組合の初仕事としてバスツアーを企画。人気の築地場外市場やルミネのよしもとを回る、今までにない斬新なツアーを企画し、ツアーに参加した組合員に大好評でした。

また、栃木には珍しく(?) 誠実で、放射線技師として、多くの患者さんからも慕われ、職場の中でも外でも信頼があつたことです。

栃木は昨年4月から2病院体制となり、厳しい状況におかれていますが「スタッフの為に、要求を勝ち取るため団結してがんばりたい」「みんなが楽しく働ける職場作りをしていきたい」と日々奮闘中です。
写真は去年の職員旅行で行った新潟の「天地人博」でのヒトコマ。直江兼続に扮して!!ここでもみんなの笑いを誘ってくれた彼です!!



栃木 安達典久さん

組合員結集にも大活躍 医労連共済

共済の呼びかけで組合員の組合結集にも繋がっています。共済促進全国交流集会の発言から紹介します。

こんにちは、青森県医労の三浦です。私たちの組合は、組合員数約4500名で7支部あり、全支部を回るには自動車で1時間半かかります。
共済・労金担当者は各支部に1名ずつ、本部執行部に2名の合計9名。当初から担当している方たちは支部で大変頼りにされています。
青森県医労では「ほっとライフプラン」を

2年からは福利厚生として、ライフサイクルに応じた医労連共済と労金の活用、普及を大会方針として掲げ、取り組んでいます。
内容は①セット共済の加入②労金の財形預金の活用③労金カードのマイプランを持つ、という3点で、急な出費への備えと過重債務

の防止が目的です。
学習会で保険見直し
08年度は共済・労金担当者が年間の活動を具体化し、新組合員学校での医労連紹介の時間、退職予定者への退職後の医労連共済についての学習、また2年ごとに作っている組合員手帳に共済のページを作るなどの取り組みを行いました。
学習会では事例学習として「保険証書の見方」を行いました。参加者の中にはこのまま掛け続けられたら車を買えるような掛け金を支払っている人がいるなど、民間保険の見直しと、共済加入の良いきっかけになりました。

企画した担当者が学ぶことにより元気になった気がします。学習会を終えるとすぐに次の学習会のテーマが出されました。
大事にして取り組んでいきたいと思っています。

ザクろワード

【問題】タテ・ヨコのカギを解いてクロスワードを完成させてください。二重ワクの文字をうまくつなぐと、答えの言葉ができます。中の絵がヒントです。(作) 野上和彦

ヨコのカギ

- 1 雛人形に供えるあられ
- 5 きげんをとること
- 7 3階のひとつ上の階
- 8 服を何枚も重ね着すること
- 9 夜、葉を閉じて眠る木
- 11 王様
- 12 声がかすれている様子
- 13 穴を掘る動物
- 16 真実を明らかにすること
- 18 羊や牛等を放し飼いにする場所

タテのカギ

- 1 滑稽で、おどけた様子
- 2 カレーといったら...
- 3 朝日や夕日を浴びて輝く雲
- 4 レモンより丸い柑橘系の果実
- 5 ちよつとしたテクニク
- 6 初心者
- 8 留守の家をねらう泥棒
- 10 都会では見なくなった広場
- 14 食通
- 15 グー、...、パー
- 17 ストライプ
- 18 母親に代わり子供の面倒をみる女性

縮め切り：2010年4月20日消印有効
あて先：〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5-6F 全厚労ニュース係

読者の声

先日、私も福厚労の教習部として機関紙を使ってみました。みんなでワイワイ話しながら楽しく活動していました。今年も読む側なので毎日楽しみにしています。(福昌)

私自身、情宣部員として機関紙の編集活動をしていますので新年特別号の機関紙活動の記事はとも楽しく読むことができました。特に機関紙を育てるのは読み手であるという言葉に頷いてしまいました。なかなかねざらぬ言葉をかけて頂く機会はありませぬ。

私も今から数十年前に広島平和記念資料館を訪れました。張本勲さんの記事を読んでもう二度と同じ事が起こらない様に願うばかりです。とても良い記事でした。(新潟)

張本勲さんの記事を読みました。今後被爆者は減っていきませんがしっかりと原爆の悲惨さを伝えていかなければなりません。同時に仕事をこなし、他に活動をしている皆さんに本当に頭が下がります。楽しく、読みやすく、そしてわかりやすく伝えようと努力している姿がとても立派です。(新潟)

私一人に歴史は繰り返されてしまふ気がしました。私一人でも伝えていくべきだという気を感じました。(岐阜)